

目 次

I 社会・政策的展開

1 国の情報戦略

.....	3
e-Japan 戦略 (I, II) と e-Japan 重点計画	4
J-CIS (著作権権利情報集中システム)	9
エル・ネットオープンカレッジ	11
教育の情報化と情報教育	13
技術標準	15
Learning Grid	17
100 校プロジェクト	19
EduMart (教育用コンテンツ流通プラット フォーム形成) 協議会	20
E スクエア・アドバンス	21
E スクエア・プロジェクト	22
IT 基本法	23
IT 指導力	24
IT 戦略本部	26
ケルン憲章	27
個人情報の保護と管理	28
コンテンツプロデューサ	29
新 100 校プロジェクト	30
地域電子図書館構想検討協力者会議	31
知的財産戦略推進計画	32
著作権等管理事業法	33
沖縄サミット (IT 沖縄憲章)	34
21 世紀教育新生プラン	35
情報化推進指導者養成研修	36
司書教諭講習カリキュラムの改定	37
特色ある大学教育支援プログラム	38
こねっと・プラン	39
メディアキッズ	40
三鷹市学校・家庭・地域連携教育プロジェクト	41
国際交流学習	42
iEARN/JEARN	43
exCampus (e-Learning サイト構築システム)	44
SOI-ASIA Project	45
Web ラーニングプラザ	45
中小企業向け e-Learning 事業	46
情報処理技術者試験制度	47
IT スキル標準	48
IT 基礎技能習得等住民サポート事業	49
IT を活用した日本語学習環境の整備と 人材育成事業	50
IT 人づくり計画	51
ネットワーク提供型コンテンツ開発事業	52
e-Pedagogy	53
図書館の地域 IT 学習情報拠点化整備事業	54
クロスオーバ型社会	55
e-教員プロジェクト	56
e-スクール	56
IT 基礎技能講習事業	57
IT 教育深化・定着プロジェクト	57
アジア e-Learning 構想/アジア IT イニシアティブ	58
学術情報基盤	58
学校インターネット	59
旧仲介業務法	59
教育の情報化評価・助言会議	60
高度能力開発促進	61
個人情報取扱事業者	61
コンテンツ流通促進検討会	62
次世代型ヘルプデスク支援システム	62
生涯能力開発促進	63
スクールブロードバンドネットワーク	63
創造的な人材育成	64
地域産業教育情報化推進事業	64

バーチャル・エージェンシー	64	科学技術・理科大好きプラン	67
沖縄 IT 高度人材育成コンソーシアム		CEC	67
IT 高度人材育成事業	65	日本教育工学振興会	68
文化デジタルライブラリ	65	FEST	68
教育情報ナショナルセンター (NICER)	66	視聴覚	69
21 世紀におけるインターネット政策の在り方		学術情報センター	69
(情報通信審議会中間答申)	66		

2 情報教育におけるコンピテンシー

.....	71	71
コンピテンシーとパフォーマンス	72	コンピテンシー課題	81
スキルとパフォーマンス	73	パフォーマンス目標	82
コンピテンシーモデル	73	大学入試	82
コンピテンシー管理	74	情報関係基礎	83
パフォーマンスマネジメント	75	大学入試センター試験	84
コンピテンシーの要素	75	情報社会の問題解決能力	84
職務分析	76	Well-structured problem	85
職能分析	77	Ill-structured problem	86
課題分析	77	Problem solving skill	86
パフォーマンスの評価	78	メタ認知	87
熟達度	79	問題解決のモニタリング能力	87
アセスメント	79	ストラテジー	88
ルーブリック	80	帰納的思考と演えきの思考	88
情報に関するコンピテンシー	80	コラボレーションと知識創造	89

3 社会・生涯学習・環境・哲学・思想

.....	91	91
ネットワーク社会と教育（情報化，国際化，		ボランティアと地域の情報化	100
環境問題などへの教育の対応）	92	ボランティアと国際教育協力	101
生涯学習（ネット社会における生涯教育，		障害者の社会参加	101
生涯学習）	94	生態学の理論モデル	102
生涯発達	95	人間発達の生態学	104
教授・学習論と学習環境論	96	情報の生態学	106
自己学習能力	97	環境教育と生態学	107
博物館・図書館の IT 化	97	ポストモダンの思想	108
幼児の学習発達とメディア利用	98	科学のメタファ論	108
大学の導入教育	98	環境思想	109
情報教育関連のワークショップ	99	地域社会の特性	110
リカレント教育（社会人の大学，大学院教育）	99	社会教育施設	111
大学通信教育課程・通信制大学院	100	社会教育者の資格	112

4 企業の人材育成

.....	113	113
経営戦略と人材戦略	114	HCM	115

HRD	116	ITSS 研修ロードマップ	129
HRM	117	IT コーディネータ	130
成果目標と評価	118	IT アソシエイト	131
360 度評価	119	NWCET	132
人材育成の成熟度 (People-CMM)	119	SFIA	133
IT 人材像	120	企業環境における e-Learning	134
ITSS	122	企業における LMS	135
ITSS マーケティング	123	企業における LCMS	136
ITSS セールス	124	PSS	137
ITSS コンサルタント	124	ラーニングアーキテクチャ.....	137
IT アーキテクト	125	コーポレート・ユニバーシティ.....	138
ITSS プロジェクトマネジメント	125	企業におけるナレッジマネジメント.....	139
IT スペシャリスト	126	インスタラクショナルデザイン.....	140
アプリケーションスペシャリスト.....	126	企業における情報リテラシー教育.....	141
ソフトウェア開発.....	127	企業におけるセキュリティリテラシー教育.....	142
ITSS カスタマサービス	127	ISMS 認証	143
ITSS オペレーション	128	プライバシーマーク.....	144
ITSS エデュケーション	129	エンプロイアビリティ教育.....	144

5 教師教育・教員養成

.....	147	147
学校の情報化.....	148	悉皆研修.....	158
情報化コーディネータ.....	149	企業・大学との連携研修.....	159
学校 ICT 人材育成	149	情報教育センター.....	159
校内 LAN	150	学校の情報公開.....	160
学校セキュリティポリシー.....	150	学校評価.....	161
教師の情報化意識.....	151	学校評議員制度.....	162
教師の倫理教育.....	151	アカウンタビリティ.....	163
情報化の心理的課題.....	152	教員免許状.....	164
教員養成.....	152	情報免許と課程認定.....	165
教員養成のコアカリキュラム.....	153	教育の方法および技術.....	165
ICT 支援教員養成システム.....	154	情報科教育法.....	166
教員の職能.....	154	単位認定講習会.....	166
情報化対応の授業設計能力.....	155	教師支援ツール.....	167
教員採用試験.....	156	授業設計ツール.....	168
情報教育の手引き.....	156	学習評価ツール.....	168
教員研修.....	157	授業評価ツール.....	169
校内研修.....	158		

6 高等教育機関における情報教育

.....	171	171
大学における情報教育.....	172	高度専門職業人育成の情報教育.....	175
大学の教育環境としての情報システム.....	174	東南アジア・東アジアの大学における情報教育.....	176
情報分野の専門技術者人材育成.....	175	情報教育における大学間連携.....	176

大学間情報ネットワーク	178	専門教育課程における情報教育	203
学習教材の大学間共同利用(私学情報教育協会)	179	情報科学系における情報教育	205
大学間単位互換	180	情報工学系における情報教育	206
通信制大学の情報教育	180	ハードウェア実習	207
大学における情報通信技術の教育活用	182	ソフトウェア実習	208
CBT	183	情報技術応用分野における情報教育	208
WBT	184	数物系科学における情報教育	209
遠隔教育	185	化学における情報教育	210
バーチャルユニバーシティと情報教育	187	工学における情報教育	210
サイバーユニバーシティ	188	生物における情報教育	211
産学官連携の研究開発(e-Learning 研究実践センター)	188	農学における情報教育	211
情報技術に関する共同研究体制	190	医学における情報教育	212
大学の研究環境としての情報システム	191	歯学における情報教育	212
高度情報専門家育成	192	薬学における情報教育	213
大学発ベンチャービジネス	193	プログラミング教育	213
一般教育課程における情報教育	193	情報処理演習	214
高等教育における情報リテラシー教育	195	作品(情報システム)制作実習	214
大学の情報教育で扱う内容	196	非情報系分野における情報教育	215
情報教育からみた専門教育と一般教育	197	人文学における情報教育	216
創造性育成	198	CALL	216
開かれた大学	198	社会科学における情報教育	217
教務管理システム	199	情報教育と芸術(デザイン)	217
情報発信拠点としての大学の役割	201	デジタルミュージアム	218
インターネットによる伝達と学生指導	202	基盤技術としての情報技術	218
大学生への電子掲示板による連絡	203	文科系私立大学における情報教育	219

7 初等中等教育での情報教育

わが国の初等中等教育における情報教育の歴史	222	メディア	235
世界における初等中等情報教育	223	マルチメディア	236
コミュニケーションの歴史	225	メディアミックス	237
コミュニケーションの形式と構造モデル	226	ハイパーメディア	238
コミュニケーションの手段	227	マスメディア	239
情報の受信・発信	228	映像メディア	240
プレゼンテーション	229	情報資源	241
初等中等教育におけるリテラシー	230	情報教育のカリキュラム	242
情報リテラシー	231	情報活用能力	244
映像リテラシー	231	小学校における情報教育	245
メディアリテラシー	232	中学校における情報教育	246
コンピュータリテラシー	232	高等学校普通教科「情報」	247
共同学習	233	高等学校専門教科「情報」	248
交流学習	234	高等学校情報関係科目	249
		特別支援教育における情報教育	250

総合的な学習と情報教育	251	情報教育の評価	253
-------------	-----	---------	-----

Ⅱ 情報教育の内容・関連事項等

8 設備環境に関する事項

学校図書館のネットワーク化	258	統計処理ソフト	281
校内イントラネット	260	プログラミング開発環境の選択	282
エキストラネット (エキストラネット)	260	協調活動の支援環境	284
WAN	261	学校間接続	286
地域ネット	261	テレビ会議システム	287
校内 LAN 構築技術	262	グループウェア	288
校内 LAN サーバ機能	264	情報発信と設備環境	289
共有ファイルサーバ	266	マルチメディア教材の作成	291
学習者の認証	266	教育支援システム	292
インターネットへの接続	267	コンピュータテストシステム	294
一般教室への情報機器の設置	269	地域教育情報センター	296
コンピュータ教室の設計	270	ユニバーサルデザイン	297
演習支援システム	271	インテリジェントスクール	297
教材配信	271	バリアフリーとユニバーサル環境	298
教室レイアウト	272	デジタルデバインド	299
VDT 障害への配慮	272	情報のユニバーサル化	300
障害者への配慮	273	Web のバリアフリー化	300
情報の処理・分析と設備環境	274	Web ユーザビリティ	301
プレゼンテーション環境	276	コンピュータ室の設計, システム管理・運用の政策	302
教育情報データベース	277	人的組織	304
情報教育デジタルコンテンツ	278	教育情報システム運用のための財政基盤	304
シミュレーション教材	279	教材の著作権処理	305
データマイニング	280	諸規定, 情報システム利用の手引書	305
数式処理ソフト	280	教員の研修	306
テキストマイニング	281		

9 e-Learning に関する事項

e-Learning	308	遠隔教育システム	322
Web ベースの e-Learning システム	310	オントロジー	323
Learning Technology	312	オンライン大学・大学院	324
e-Learning 関連学会・団体	314	教育コンテンツベンダ	325
LMS/LCMS (学習者管理, 教材管理, 履歴管理)	316	教育サービスベンダ	326
デジタルアーカイブの利用	318	教育システムベンダ	327
ALIC/eLC	319	シミュレーション型コンテンツ	328
Collaborative Technologies	320	セマンティック Web	329
e-Learning 評価項目	321	ナレッジマネジメント (総論)	330
		バーチャル・ユニバーシティ	331

ナレッジマネジメントと学習	332	SCORM	345
バランス・スコアカード	334	TV 会議システム	346
e-Learning 標準化団体	335	VOD コンテンツ	346
ブレンディング	336	教材作成 (オーサリング) ツール	347
コンテンツ開発方法・プロセス	337	ネットワーク提供型コンテンツ	347
リアルタイム講義配信	338	m-Learning	348
サービス形態としての API	339	協調ツール	348
サービス形態としての ASP	339	コンフォーマンス	349
ASTD	340	Web サービス	349
Content Packaging	340	Quality Assurance	350
ネットベースの CSCL	341	AECT	350
EML	341	ストーリーミングビデオ	351
e-Learning 市場	342	インスタントメッセージャー	351
ISO/IEC JTC1 SC36	342	CLA	352
学習者/コンピテンシー情報	343	RFID	352
LOM	343	教育用言語インタフェース	353
LSDA	344	Adaptive Hypermedia	355
OUNL	344	エージェント技術	357
QTI	345	CSCL での教師の役割	359

10 社会・経済に関する事項

			363
情報化社会	364	児童虐待と情報	386
情報通信産業	366	環境情報	388
情報サービス産業	367	個人情報	389
電子政府・電子自治体	368	個人信用情報	391
表現の自由	369	報道の自由	393
プライバシーの権利	371	犯罪報道	395
表現の自由と名誉毀損	373	放送の自由	396
表現の自由とポルノグラフィ (わいせつ現象)	374	情報化社会と子ども	397
インターネットと表現の自由	375	情報の検証	398
表現の自由と差別的表現	376	銀行における情報管理	400
児童ポルノの禁止	377	証券における情報管理	401
プロバイダ法	378	インサイダー情報	402
電子メール	379	保険における情報管理	402
電子商取引とホームバンキング	380	出版・印刷等における情報管理	403
電子署名法	381	流通における情報管理	404
企業秘密	382	製造における情報管理	405
ネットワーク社会と保険	384	経済統計と情報管理	406
福祉と情報	385	消費者保護と情報提供	407

11 法律・倫理に関する事項

立法と情報の収集	410	知的財産権と情報倫理	446
民事訴訟手続と情報の収集	411	初等中等教育における知的財産権教育と情報倫理	448
民事訴訟手続と証拠の収集	413	高等教育における知的財産権教育と情報倫理	449
民事訴訟手続と証言拒絶権	414	インターネット社会におけるマナーと倫理	450
民事訴訟手続と文書提出命令	415	情報アクセスと情報倫理	452
刑事訴訟手続と証拠の収集	416	情報セキュリティと情報倫理	452
刑事訴訟手続と証言拒絶権	418	有害情報と情報倫理	453
裁判の公開	419	教育機関における情報倫理	453
裁判記録の公開・閲覧・保管	420	教育・研究の情報公開と情報倫理	454
司法統計	421	自己点検評価と情報倫理	456
行政における情報の管理と公開	422	教育・研究情報の活用と情報倫理	457
情報公開法	423	教育機関における情報の公開と情報の機密の交錯	459
情報公開条例	424	入学試験と情報公開・管理業務	461
行政における調査と情報	425	教育機関と情報公開・管理業務	463
住民基本台帳ネットワークシステム(住基ネット)	426	就職事務と情報倫理	465
捜査活動と情報	427	学生厚生と情報倫理	467
個人情報保護法制	428	学生相談と情報倫理	469
個人情報保護の国際的保障	430	教育機関における保険医療と情報倫理	471
知的財産法	432	教職員保健医療と情報倫理	473
特許権	434	学生保健医療と情報倫理	474
商標権	435	医療と情報倫理	475
著作権	436	コンピュータネットワーク(Eメール)の モニタリング	477
著作者人格権	437	企業形態と情報管理・情報倫理	478
知的財産権と国際条約	438	セクシャル・ハラスメントと情報倫理	479
通信と法	439	専門的職業と情報倫理	481
コンピュータ犯罪	440	ジャーナリズムと報道倫理	483
情報と民事責任	442		
情報倫理の展開と構造	444		

12 情報・通信の科学技術に関する事項

情報・通信の歴史	486	情報量	496
通信ネットワーク	488	ブル代数	497
光ファイバ	489	メモリー装置	498
光部品	490	入出力装置	499
発光素子	491	ディスプレイ	500
受光素子	492	コンピュータネットワーク	501
光増幅器	493	コネクタ	502
光変調器	494	プリンタ	503
コンピュータシステム	495	基本ソフトウェア	504

学習の最適化	712	学習障害	731
ノンバーバルコミュニケーション	713	スキーマ	731
調べ学習と情報検索	714	コンピュータ不安	732
マイクロワールド	715	ピグマリオン効果	732
CSCL	716	ホーソン効果	733
CAI	717	映像認知	733
CMI	718	ILE	734
インストラクショナルデザイン (授業設計)	719	指導方略	734
システムズアプローチ	720	体験学習	735
ATI (適性処遇相互作用)	721	チームティーチング	735
アルゴリズム思考	722	ニーズアセスメント	736
非言語行動	723	プロトコル分析	736
ITS	724	学習者モデル	737
レディネス	725	教師の意思決定	737
ティーチングマシン	725	授業リフレクション	738
プログラム学習	726	マイクロティーチング	738
社会的構成主義	726	アクションリサーチ	739
協調的コミュニケーション	727	イメージ思考	739
アフォーダンスと認知	727	プロジェクトメソッド	740
先行オーガナイザー	728	有意味受容学習	740
メンタルモデル	728	主体的学習	741
バグ研究	729		
現象学的アプローチ	729		
エスノメソドロジー	730		
意味ネットワーク	730		

18 カリキュラム・学習指導・評価

カリキュラム	744	タキソノミー	763
教育評価	746	ポートフォリオ	764
カリキュラム開発と評価	748	数学教育と情報教育	765
教材分析と評価	750	技術教育と情報教育	765
到達度評価	751	国際化と情報教育	766
授業モデル	752	生涯教育と情報教育	766
絶対評価と相対評価	753	接続カリキュラム	767
診断的評価	754	学習形態	767
形成的評価	755	個別学習	768
総括的評価	756	体験・経験	768
評価の規準と基準	757	個々の差異 (個人差)	769
学力と基礎・基本	758	特別活動	769
スコープとシーケンス	759	指導案	770
少人数・習熟度別指導	760	潜在的カリキュラム	770
カテゴリー分析・コミュニケーション分析	761	学級風土	771
計画・遂行・評価のサイクル	762	学級経営	771

生徒指導	772	クロス・カリキュラム	775
進路指導とキャリアガイダンス	772	Assessment / Evaluation	775
地域連携	773	プロセス評価・プロダクト評価	776
学校文化	773	自己評価	776
Problem-based Curriculum	774	相互評価	777
School-based Curriculum	774	通知票と指導要録	777
索引	779		